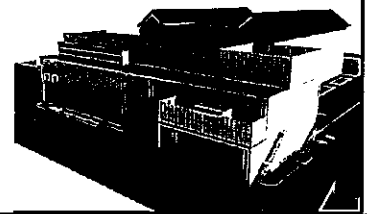


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 1使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	一般社団法人 日本血液製剤機構	階数	地上3F
建設地	京都府福知山市長田野町2丁目11番	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条指定区域	平均居住人員	30人
地域区分	S地域	年間使用時間	3,650時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2023年8月1日
敷地面積	59,471 m ²	作成者	関田 隆史
建築面積	1,766 m ²	確認日	2023年8月1日
延床面積	4,078 m ²	確認者	関田 隆史



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 46 (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 102%

③上記+②以外の: 102%

④上記+: 102%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境: N.A. 温熱環境: N.A. 光・視環境: N.A. 空気質環境: N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性: N.A. 耐用性: 3.2 対応性: 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境: 2.0 まちなみ: 3.0 地域性: 2.5

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.1

建物外皮の: N.A. 自然エネ: 2.9 設備システ: 1.9 効率的: 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

水資源: 3.3 非再生材料の: 3.3 汚染物質: 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化: 2.9 地球環境: 2.9 周辺環境: 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
工場用途としての耐用性、対応性に考慮した。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
対象外	更新必要間隔の長い材料を採用した。	道路沿いの植栽により良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
太陽光発電を設置	自動水栓、節水型便器を設置することにより、水資源の保護に配慮した。	電気温水器を採用することにより大気汚染防止に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される